

サポートセンター通信

NO.32

発行元：松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13
松本市役所大手事務所 2階
TEL/FAX：0263-88-2988
E-mail：support-center@support-center.jp
URL：http://www.support-center.jp



プラチナ世代対象のイベントが開かれました！

NPO・市民活動 “お見合いひろば”

10月1日にプラチナ世代（概ね55歳以上のシルバー世代）のための相談窓口“とまり木”をサポートセンター内に開設してから半年あまり。プラチナ登録をした方と市民活動団体とを、実際に結びつける催しとして、「NPO・市民活動 “お見合いひろば”」を2月27日（日）に開催しました。



お見合いひろばの様子

16の市民活動団体の方と社会貢献活動等に興味がある「プラチナメンバー」や市民の方々など計104人の参加がありました。参加者はそれぞれ思い思いにブースを周り、中には、複数の活動に参加することを決めた方もいました。

いわゆる“マッチング”を目的としたイベントは初の試みでしたが、当日は、参加者やメンバーを求める

団体として参加した方にも、「市民を自分たちの活動に誘うだけでなく、他団体のことを知る良い機会になった」と好評だったので、今後センターとしても、人と団体、団体と団体を結びつけるイベントを継続して開催していきたいと感じました。

プラチナサロン “とまり木”

2月11日（金・祝）に、第1回「プラチナサロン “とまり木”」が開催されました。まず、事例発表として松本自己教育の会代表の山田榮一さんと森倶楽部21代表の永田千恵子さんに「自分がなぜ、市民活動に参加するようになったのか」といったきっかけなどを発表していただきました。その後は、ファシリテーター役の小林修さんの進行のもと、参加者が各自興味のある「市民活動」、「ボランティア」、「仕事」、「学び」の4グループに分かれて、話し合いをしました。

気軽に意見交換する場所として企画したイベントでしたが、参加者からは、「まだまだ話し足りない！」「時間がもっと欲しい！」という意見もあり、急きょ3月17日（木）に第2回のサロンを開催することが決定しました！



予告！

市民活動フェスタ2011 in 松本

「ぼくらの学校」開催決定！

昨年7月24日に開催した「ぼくらの学校」……。

23年度は、10月1日(土)・2日(日)の二日間にわたって、昨年と同様「あがたの森・講堂」で開催することが決定しました！！

テーマや具体的な内容（ブース展示、ステージ発表 etc…）については、現在、団体有志による企画委員会の中でアツく議論中です！

今回の目的は、一般の人に市民活動を知ってもらうこと！

次回の企画委員会は、4月11日(月)開催予定



Close up

このコーナーでは、松本市近郊でさまざまな活動をしている団体をご紹介します！！
今回お話をうかがったのは、「PL長野MBA」と「やまたみ登山学校OB会やまたみ倶楽部」です。

PL長野MBA

バトントワリングの団体、「PL長野MBA」で指導者をされている坂本祥子さんにお話を伺った。



坂本さん

PLMBAは、子どもから社会人まで、全国にメンバーを持つ日本有数のバトン団体である。バトントワリングの技術向上を目指すと共に、芸術的センスを磨き、集団における協調性と表現力を身につけていくことを目的に、2005年4月にPL長野MBAが設立された。長野県内に、松本をはじめ、5つの教室がある。昨年の夏には、成人向けの教室も立ち上げ、現在子どもから成人まで30名のメンバーがいる。

松本教室のレッスンは、毎月3回土曜日の午前中に行われている。バトントワリングの練習は体育館で行っているが、練習場所の確保が難しい。そんな中、昨年11月には、初めての発表会も開催し、今年も検討している。また、各種イベント、大会、各地域でのお祭りなどでも練習の成果を披

◇問合せ先（PL長野MBA事務所）
TEL:0263-32-3161 FAX:0263-36-5189
Email:pl-nagano-mba@mail.goo.ne.jp

露している。多くの人に見られることが、子どもたちの成長につながるので、イベント等に積極的に参加したいという思いがある。しかし、そういったイベント等の情報が得られないのが、現状の課題である。イベントの際は、ぜひ声をかけてほしいとのことである。

PL長野MBAでは、随時メンバーを募集している。3歳以上なら、女の子だけでなく、男の子も大歓迎とのこと。



活動のようす

「楽しくレッスンをしているので、ぜひ体験にお越しください」と、坂本さんは笑顔で語ってくれた。（取材：やまざき）

※ MBAとは、Marching Band&Baton Twirling Associationの略です

月会費 2,700円 登録金 1,000円 スポーツ保険 600円～

やまたみ登山学校OB会 やまたみ倶楽部

先日、当サポートセンターで写真展を開催し好評であったやまたみ倶楽部。今回、会長の熊谷癸未夫さんと、事務局の佐々木一夫さんにお話を伺った。



佐々木さん(左)と熊谷さん(右)

やまたみ倶楽部は、NPO法人やまたみ登山学校を卒業された方を中心に、平成20年4月に設立された市民団体で、現在会員は22名。4月からは30名となり、着々と山登り好きの輪を広げている。メンバーは、20代から70代と幅広い年代層で構成されており、世代を超えての交流ができるのもやまたみ倶楽部の魅力の一つである。活動は、年間を通じて行い、夏山には月2回程度、冬山には月1回程度登っている。信州の山々を中心に山行しているが、最高峰のヒマラヤやブータンでもトレッキングを行っている。

やまたみ倶楽部には、「安心・安全・安楽の山登り」という強い信念がある。弱者中心の山登り、山岳ガイドが同行しての山登り、時間にゆとりをもたせ、楽しみながらの山登り、これらが「安心・

◇問合せ先（やまたみ倶楽部事務局）
TEL:0263-82-8210 FAX:0263-82-6975
Email:sasaki@sasakikaikei.co.jp

安全・安楽な山登り」につながる。ただ山に登るだけではなく、事前には打ち合わせ、事後には反省会を必ずメンバーが集って行う。また、メンバーと食事をしたり、温泉につかったり、といった交流も楽しみの一つであり、メンバー同士のつながりを最も大切に考えている。

メンバー同士の絆を大切にしたい登山団体である。

（取材：ごみょう）



山行のようす

今後のイベントのご案内

「平成22年度 登山活動報告展」

22年度に登った山々で撮った写真などを展示します！
会場：松本市市民活動サポートセンター
フリースペース
日程：4月上旬～4月中旬



「ボランティア活動をする時は、保険に加入しましょう！」

～平成23年度分の受け付けを3月1日より始めました～

手続きは、松本市総合社会福祉センター5階（松本市社会福祉協議会事務局）、社協（四賀、安曇、奈川、梓川、波田）の各地区センター、又は松本市役所大手事務所2階（松本市市民活動サポートセンター）で受け付けています。安心して活動できるよう、お早めにご加入ください。



ボランティア活動保険 コーヒー1杯分で、1年間の活動をサポート

- ★保険内容 ボランティア活動中、又は活動の行き帰りの途中に起きた事故によるご自身のケガや賠償責任（他者にケガをさせたり、物を壊してしまったりなど）を補償します。ただし、自動車による事故は、ボランティア自身のケガのみが補償の対象となります。
- ★保険料 （年間）1名 A：280円、B：420円（地震等の天災に対応したプランもあります。）
- ★補償期間 平成23年4月1日～平成24年3月31日
- ★補償内容 （例A）＜死亡＞1400万円、＜後遺障害＞1400万円（限度額）、＜入院＞7000円/日、＜通院＞4100円/日、＜賠償責任＞5億円（限度額）

そのほか、福祉活動など様々な行事における事故を補償する「ボランティア行事用保険」や自動車での送迎サービス中の事故による利用者のケガを補償する「送迎サービス補償」も取り扱っています。



なお、詳しい内容についてはボランティアセンターにお問合せください。

問合せ先：TEL25-7311

シリーズ⑤ 「支える人たち」 松本都市デザイン学習会 藤松 幹雄さん



今回は、松本の魅力的な背景やストーリーを活かしながら、商業・産業・経済・住環境・交通・文化・歴史など様々な視点でまちづくりを議論し、魅力的な都市・松本を目指した活動を行っている「松本都市デザイン学習会」の会員である藤松幹雄さんにお話を伺いました。現在は、カタクラモール一帯の再開発について、月に数回勉強会やワークショップなどを開催しています。

Q 参加するようになったキッカケは何でしたか
職業は建築設計で、自分の職能を活かして住んでいるまちに何か貢献できないかと思っていました。それがまちづくりで、そう思っていたところ、知人から声を掛けていただいたのがキッカケですね。

Q 会の中での役割について教えてください
私は、まちの歴史を調べまとめる「歴史班」を担当しています。

松本は江戸期のまち割りがキッチリ残っており、それを基に発展してきたまちです。カタクラ界隈は明治の近代化とともに製糸業で発展し松本の経済や文化を支えてきた地域でもあります。

私もそうでしたが、それを知らない人も多く、改めて案内したりすると「あ、そうなんだ」といってまちの魅力に気づいてくれます。歴史の足跡ってまちの宝ですね。それはまちのことを考えていく上で重要な事だと思っています。私としてはこれを知ってもらいたい思いがあって、まち歩き勉強会をお手伝いしています。まちを見て歩くと、そこから学ぶことが沢山あり、将来のまちを考える上で重要なヒントになると思います。

私は、建築的な目線から歴史を紐解いて、皆さ

んと一緒にまちづくりを考えていくのが役割だと思っています。

Q 今後に向けての想いなどを教えてください

松本は歴史的な奥行きを持った誇りの持てるまちであって欲しいと思います。そして何より、まちが元気で賑わっていて豊かであって欲しいと思います。そのためには「一人勝ち」じゃダメだと思うんです。今は中町やお城周辺のナワテなどは、歩いて楽しいまちになりつつあるので、カタクラ周辺にまで足を伸ばして楽しんでもらえるようになっていけばなと思います。

松本は、皆が楽しく暮らせるまちとしての潜在能力を持っています。しかし、まちに無関心でいると、その魅力がいつも簡単に目の前から消えてしまいます。住んでいる人が楽しく暮らしていれば、観光客もロコミで沢山くると思うんです。今は、カタクラモール界隈を取り上げていますが、今後も学習会を開いて広い範囲でまちづくりを考えていきたいと思っています。

松本市のもう一つの魅力は、建物の合間から見えるアルプスですから、景観という財産もいかしながら、面として広がりのあるまちを目指していきたいですね。（取材：さくた）

イベント情報をお寄せください

センター通信やホームページで、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。

松本市 景観シンポジウム

- ◆日時：3月19日(土) 13:00~16:30
- ◆場所：松本市勤労者福祉センター大会議室
- ◆プログラム
第1部 平成22年度 景観賞表彰式
第2部 第25回景観フォーラム
講演「都市デザインによる時間の積層」
講師 窪田亜矢氏
(東京大学大学院都市工学専攻准教授)
- ◆参加費：無料
- ◆問合せ：松本市建設部計画課
TEL:0263-34-3015 / FAX:0263-33-2939
MAIL:keikaku@city.matsumoto.nagano.jp

※駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。タウンスニーカー東コース「勤労者福祉センター」下車

松本の水巡り

「平成の水100選」に選定された松本の湧水群のうち、主に市街地中心部を歩きながら水場を案内していただき、あわせて松本城についても歴史や成り立ちについてお話をお聞きします。

- ◆日時：4月14日(木) 10:00~12:30
- ◆場所：松本城 第一会館前集合(雨天決行)
- ◆案内役：ボランティアガイド 高橋八重子さん
- ◆参加費：会員500円 一般1000円
- ◆申込・問合せ：NPO法人ライフデザインセンター
TEL&FAX:0263-46-2020

※コップやスプーンをお持ち下さい。水を汲んで持ち帰りたい方は水筒などをご用意下さい。

<お知らせ>

平成23年4月1日から、松本市の組織改正により市民活動サポートセンターの所管が次の通り変更となります。

<現> 市民生活課 ⇒ <新> 地域づくり課

思春期の子どもたちと向き合うための講座を開講します

第3回 心の処方箋「思春期の子ども」

講師 中垣寿彦氏(カウンセラー)

- ◆日時：3月23日(水) 10:00~12:00

- ◆場所：あがたの森文化会館 2-8会議室

第4回 からだのクリニック「思春期の心と体」

講師 後藤裕子氏(養護教諭)

- ◆日時：3月25日(金) 10:00~12:00

- ◆場所：あがたの森文化会館 2-7会議室

- ◆受講料：無料

- ◆問合せ：松本市こども部こども育成課

TEL:0263-34-3291 / FAX:0263-34-3236

※会場周辺の駐車場は、込み合うこともありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、内容については、都合により一部変更になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

<まつもと市民環境大学の学習会>

砂防ダム問題と溪流環境

長い間、無批判で行われてきた砂防行政。見直さなくてもいいのでしょうか？砂防ダムと溪流の環境についてみんなで考えてみましょう。

- ◆日時：3月25日(金) 18:30~

- ◆場所：市民活動サポートセンター 会議室

- ◆問合せ：まつもと市民環境大学(黒沼)

TEL:0263-36-7869

編集後記

この通信発行直前の3月11日14時46分に国内観測史上最大、M9.0の東北地方太平洋沖地震が発生しました。テレビで、津波によって壊滅状態の町や村を見て心が打ち砕かれる思いです。

今は一人でも多くの方の命が救われることを祈るばかりです。

市民活動サポートセンター
スタッフ一同